

2017年3月31日

省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度
『ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016』において
フィアスホームが『優秀賞』と『特別優秀企業賞』をW受賞
フィアスホームの受賞は7年連続！

株式会社LIXIL住宅研究所
フィアスホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所フィアスホームカンパニー(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)では、このたび、一般財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)が主催する、省エネルギー性の優れた住宅を選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016」において、フィアスホームの『arietta(アリエッタ)』が優秀賞を受賞しました。さらに、フィアスホームにおいては、5回以上連続しての受賞となるため「特別優秀企業賞」を同時に受賞しました。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、省エネルギーやCO₂削減等に貢献する住宅の普及と快適な住まいの実現に貢献することを目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と、販売実績や設計・施工における標準化といった普及性を評価し、優れた住宅を表彰する制度です。



評価基準は、(1)外皮・設備の省エネルギー性能値、(2)多様な省エネルギー手法の導入、(3)省エネルギー住宅の普及への取り組みの3つで、優秀と認められた住宅が表彰されます。

今回、優秀賞を受賞したフィアスホームの『arietta(アリエッタ)』は、高気密・高断熱技術を基本に風や光などの自然エネルギーを活用した少ないエネルギーで暮らすことができる住まいを提案。「レポート」や「性能報告書」で暖冷房効果や建物性能を見える化するなど、消費者に分かりやすい取り組みで省エネルギー住宅の普及に努めています。

◆受賞内容◆

カンパニー名	フィアスホーム
受賞名	優秀賞
商品名	「arietta(アリエッタ)」 <受賞対象地域> 3-6 地域※
特別表彰	特別優秀企業賞

※省エネルギー基準による地域区分



株式会社LIXIL住宅研究所フィアスホームカンパニーは、ブランドメッセージ『For Your Vintage Life～永く住み継がれる住まい～』を実現するため、“こだわり”をもって家づくりに取り組んでいます。未永く住まい続けていただくため、ハードとしての建物だけでなく、「快適な暮らし」というソフト面でもお客様のお役に立てるよう努めていきます。

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明(チギラ)
電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com
LIXIL住宅研究所ホームページ/TOP URL:<http://www.lixil-jk.co.jp/>

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。

【参考】フィアスホーム

優秀賞「arietta(アリエッタ)」(3-6 地域)

『arietta(アリエッタ)』は、「そよ風」を意味します。北海道基準をクリアする最高水準の断熱・気密性能をベースに、風や光などの自然エネルギーを活かす工夫を盛り込み、未来へと永く住み継がれる住まいを目指しています。

●建物外皮・設備機器について

樹脂系断熱材と構造用パネルを一体化させたオリジナルの『粘震+eパネル』で建物全体を囲うことで、厳しい北海道基準をクリアする最高水準の断熱性能を実現。さらに、付加断熱により U_A 値 $0.30\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$ という欧州の高い基準に並ぶ断熱性能を実現した商品もラインアップしています。また、気密性能の自社基準をC値(隙間相当面積) $1.0\text{cm}^2/\text{m}^2$ 以下と定め、全棟測定を実施。2016年の実物件の平均値は $0.47\text{cm}^2/\text{m}^2$ で、基準を上回る実績となっています。暖冷房、換気設備等の設備機器は、高効率機器であることはもとより、太陽光発電システムや地中熱を利用したヒートポンプ式エアコンなど再生可能エネルギーを活用する住まいを提案し、一次エネルギー消費量を抑える取り組みを実施しています。

●多様なエネルギー手法の導入について

春や秋には、自然の力を活かし、サッシ・建具・吹き抜けの工夫による自然換気や温度差換気を利用。通風は自立循環型住宅の思想を取り入れ、全居室2面開口や、より大きな通風効果を得られる窓「フル3Dウィンドウ」、袖壁によるウインドキャッチ提案などを採用。また、軒の出を深くすることで夏季には日差しや熱気の進入を抑えるとともに、涼風を室内に上手に引き入れ、冬季は日差しをたくさん取り込む『パッシブ設計』を取り入れています。

●省エネルギー住宅普及への取り組み

フィアスホームは、ZEHビルダー登録事業者として 2020 年度までのZEH住宅普及目標を 50%以上と掲げ、省エネ住宅の普及に取り組んでいます。さらに、省エネ効果については、設計段階での省エネ効果を年間光熱費・一次エネルギー消費量削減率(ZEH適合判定)に置き換えて提案する「eレポート」や、施工した建物の気密・断熱・燃費性能を数字・グラフで見えるようにした「性能報告書」を邸別に用意。性能を見える化してお客様に提案しています。



<フィアスホーム「arietta(アリエッタ)」外観>



<「eレポート(左)」と「性能報告書(右)」>



<袖壁によるウインドキャッチ提案>